

いわきは心をつに その4

ラグビー部や吹奏楽の活躍は見事でした。テニス部も、東北大会で準優勝し、春の選抜大会に出場できる可能性が高まりました。

また、男子剣道部と弓道部の女子も、県大会で優勝しました。

野球部も東北大会ベスト8になったこともご存知でしょうが、昨日、県の21世紀枠に選出されました。

台風19号の傷跡も深いいわきですが、生徒たちは、己の力を全力で発揮しています。この力を結集して未来のいわきを創造していければ幸いです。

センバツ21世紀枠

磐城3年連続推薦

県高校野球連盟は5日、福島市内で開いた理事会で、来春の第92回選抜高校野球大会(日本高野連・毎日新聞社主催)の「21世紀枠」の県推薦校に、3年連続で県立磐城高校を選んだ。今後、全国9地区ごとに1校に絞られ、この中から3校が来年1月24日の選考委員会で21世紀枠の出場校に選ばれる。

同校は1896年に創立し、2001年から男女共学となった進学校。野球部は1906年創部で、甲子園には春2回、夏7回出場。71年夏には準優勝を果たした。95年の夏の大会を最後に甲子園からは遠ざかっている。

現在の部員は20人。秋の東北大会期間中に、同校のあるいわき市が台風19号で被災。2回戦前夜の10月13日は、市内上空をドクタヘリが飛び交い、泥水の広がる街を目の当たりにした後、東北大会が開催された盛岡入りした。「地域に元気を与えたい」と7回に逆転し、ベスト8入りを決めた。木村保監督は「子どもたちが積み上げてきたことが評価さ

れてうれしい。精神面、スタミナ共に強化していきたい」と話した。

一方、理事会はセンバツの一般推薦校に、秋季東北大会に出場した学法福島高校、福島成蹊高校、磐城高校の3校を選んだ。

【職員映奈】

毎朝 1/6 朝刊